

# 昭和49年度 和歌山県名匠

## 【宮大工】

もく しん ぞう  
空 真 藏

(旧姓 佐藤)  
さとう

【現住所】田辺市  
【生 年】明治34年

### 職 歴

宮大工見習 (大正4年～昭和2年 うち兵役3年)

空工務店自営 (昭和2年～現在)

### 業績の概要

多年にわたり文化財建造物の修復工事とその保護及び後進技能者の育成指導を通じ和歌山県の文化の向上発展に貢献。

紀州藩主普請方十代目佐藤秀吉 (実父) 氏に師事した。佐藤家の三男として生まれたので、母方の同業者空家七代目の相続人として養子入籍し、14才のときから厳格な実父にたたき込まれ宮大工を唯一の天職として働き続け、“ぶんまわし”と“さしがね”のみを使って建築する宮大工の伝統技術である規短術を修得した。

和歌山市梶取の総持寺の講堂をはじめ、田辺市の高山寺多宝塔、東光寺の鐘楼、蟻通神社の社殿など数多くの神社仏閣の修築を手がけるなど、本県文化財保護に貢献している。

昭和26年には、独学で一級建築士の資格を取得するなど、その豊富な知識と経験を生かし後進の指導育成にも努めている。